

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年10月22日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年10月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の冷却水循環ポンプ切替時における冷却水供給圧力の低下について】 2019年11月と2020年2月の雑固体廃棄物焼却設備の冷却水循環ポンプの定例切替時作業時に、冷却水供給圧力の低下が複数回発生。 系統内の空気溜まりによるものと推定。 今後、ポンプ切替時に圧力低下しないよう対策を検討する。 ※2019年11月の場合では、焼却炉の自動停止に至っているため、今般パフォーマンス向上会議にて不適合と判断し公表。</p>	GⅢ	10月19日
2	<p>【業務車の荷台に積載していたホースからの残油漏えいについて】 当社社員が作業のため業務車にて構内を移動した際、2, 3号機間の道路において、積載していたホースより30cm×40cm×1mmの範囲で残油(軽油)が漏えいしたことを確認。 漏えいした軽油については拭き取り済み。 漏えい箇所、範囲が明確で、周囲に火気がなく速やかに除去できる等の理由から、火災に至る可能性が低いと判断し、当社初期消火隊で対応した。 当該ホースは軽油タンクへの補給作業に使用するもので、残油に気付かずに業務車の荷台にホースを積載し移動した結果、車両の振動によりホースの閉止栓が徐々に緩み、ホース内の残油が漏れたと推定。 対策として、油補給作業終了後、ホースの閉止栓の締め付け具合の確認と養生を実施のうえ倉庫へ保管し、使用時のみ業務車へ積載する運用とした。</p>	GⅢ	10月20日